

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(水道)単独事業			
予算科目	1 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	水道課	電話番号(内線):	713
記入者情報	所属長:	野島 康博	担当責任者:	田中 浩二
実施期間	【開始年度】平成 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民(上水道の利用者)			
事業の必要性	給水区域内において配水管未整備区域の解消や、水道施設の改修、更新を行うことで、安全で安心な水を需要者に供給する。			
施工方法、場所	【施工方法】	請負	【施工場所】	上水道給水区域
運営方法	【運営方法】		【運営費(予定)】	
事業の目的	安全で安心な水を需要者に供給する。			
事業の内容	上水道施設の改良工事や特設配水管布設工事をする。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	他の事業と連携をとり、耐震管路の整備に努める。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算	
事業費	直接事業費	18,146	14,550	3,642	8,625
	人件費	6,101	5,170	1,272	5,170
	合計	0	19,720	4,914	13,795
人件費 内訳	人工数	0.75	0.65	0.16	0.65
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	6,101	5,170	1,272	5,170
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	2,280	2,350	0	0
	一般財源	21,967	17,370	4,914	13,795

実施スケジュール								
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降	
布設工事	23,000	23,000	23,000	20,000	20,000	20,000		
年度別事業費	23,000	23,000	23,000	20,000	20,000	20,000		
財 源	国・県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	23,000	23,000	23,000	20,000	20,000	20,000	
国・県支出金等名称								0

成果指標				
成果指標	計画発注率(計画的に発注出来た件数÷全体の件数×100)			
指標設定の考え方	計画発注率により本事業の成果の把握が可能のため。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	安全で安心な水を供給することは、水道事業にとって最も大切な使命であり、将来の需要を検討し整備計画を立てることが必要である。毎年の更新、改良、新設工事により有収水量の向上を図るとともに、水道事業の効率化と節水型都市の形成を目指す。また、計画的に耐震管路へ更新し災害に強い施設の整備を目指す。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	安全で安心な水を供給することは、水道事業にとって最も大切な使命であり、将来の需要を検討し整備計画を立てることが重要である。一方で水道事業は、受益者負担が原則であるため、一定の個人負担に対する住民理解を得るために説明責任を果たし、事業を進捗していく必要がある。また、計画的に耐震管路へ更新し災害に強い施設の整備を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題